

EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー

2012.2.1

No.90

「あなたの指のわざである天を見、あなたが整えられた月や星を見ますのに、人とは、何者なのでしょう。あなたがこれを心に留められるとは。人の子とは、何者なのでしょう。あなたがこれを顧みられるとは。」

(詩篇八篇三、四節)

聖書が語る創造主は、全宇宙を治められる力と権威に満ちておられる方です。と同時に、神からみて塵・灰に過ぎない人間を限りなく愛しておられるというのです。神は人間を他の動物と同じようにはなく、霊を持つものとして造られました。愛の対象とされたのです。しかし、人間はこの神から故意に離れてしまいました。神はこの人間との関係を修復するために「救い主イエス」をこの地上に遣わされました。罪を赦し、神と共に歩む人生に入るように、私たち一人ひとりを招いておられるのです。

「主は幾千の雄羊、幾万の油を喜ばれるだろうか。私の犯したそむきの罪のために、私の長子をささげるべきだろうか。私のたましいの罪のために、私に生まれた子をささげるべきだろうか。主はあなたに告げられた。人よ。何が良いことなのか。主は何をあなたに求めておられるのか。それは、ただ公義を行ない、誠実を愛し、へりくだってあなたの神とともに歩むことではないか。」

(ミカ書六章七、八節)

神をなせる最善を超え



イエスを自分の人生の主として受け入れた者たち（クリスチャンと呼ばれる）はこの神と共に歩むことを人生の醍醐味としています。

十二月はいつもコル・シャロームの働きで忙しくしています。今回も二十三日から三日間千葉集会に行くことになっていました。初日に大規模なコンサート予定です。ただ会場の都合で二カ月前しか借りることができるとか、どうかわからなかったのです。結局、二十三日は優先の他の予定が入り、特別集会はその日にできなくなり、二十三日は丸々空いてしまいました。ゆっくり千葉まで移動するのに使うことになったのです。

次に、前号で紹介したSさんのことです。彼女は余命を二、三カ月と宣告されています。静岡県の病院のホスピスに入っておられますが、十一月の終わりに、イエスを信じ決心をされたのです。そこで千葉集会に行く途中、空いた二十三日を利用して、千葉に行く途中に病院に立ち寄って、コルシャロームのメンバーでお見舞いに行くことに決めました。せっかくなら病院でミニコンサートができないか病院に勤めるクリスチャン医師に打診してみました。いろいろ交渉してくださったのですが、公立の病院なので、また祭日なので難しいとの返事でした。ところが、Sさんが担当の看護婦さんに直訴してくれたのです。患者の希望とあらば、ということでは

見事、院内ミニコンサートが実現することになったのです。三島や浜松からのクリスチャンたちも応援に来てくれ、和やかな雰囲気の中で唱歌やクリスマスキャロルを歌ってきました。看護婦さんたちが他の患者さんたちに声をかけてくださり、患者さんたちや付添の方たちが入れ替わり立ち替わり聞きに来てくれました。オープンスペースのロビーのようなところで、ナースステーションのすぐそばでもあったので多くの方々の目に触れたのです。予想以上に歓迎されたので私たちも訪問した甲斐がありました。これは後から聞いたことですが、病室から出ることができなかった患者さんも病室まで聞こえるコーラスの声に耳を傾けておられたそうです。そして、その夜は不思議にナースコールが少なかったそうです。(普段は不安のゆえか夜中に多くのナースコールがあるそうです。これは不思議、不思議...) 十月になって二十二月二十三日がぼっかり空くことになり、これなら他の働きを入れることができたなあ、と考えていたのですが、後から考えるとこの日が空いていなければ病院訪問は実現しなかったのです。



私たちは今回のようなことを偶然とはとらえません。創造主の深い計画の中にあると考えるのです。すべてをご存じの神はいつも最善をなさると聖書は述べます。

僕は昔から自転車好きで、ロードバイクを買うのが夢でした。初めはマウンテンバイクに乗っていましたが、マウンテンバイクはスピードを出す用ではないので、スピードが出せるロードバイクを買いました。

自転車 came 来た時は、マウンテンバイクと軽さが全然ちがうのでびっくりしました。普通の自転車は車体の重さは二十キロ前後ですが、僕のロードバイクは十一キロです。また、こぐ強さを変えるギアが十四段あり、坂も楽です。またハンドルが普通の自転車と少し違い、ドロップハンドルというハンドルです。体勢を全体的に前にしなければならぬので、腰が痛くなります。座席も、小さく固いので乗り心地はあんまりよくないですが、スピードが出るので楽しいです。ロードバイクは軽く三十キロぐらい出で、坂では五十〜六十キロ出るので、とても速いです。危ないので、ヘルメットもかぶっています。また汗で手が滑るので自転車用のグローブもつけています。

また最近サイクルコンピュータというものを買いました。これは時速・距離・所要時間などが測れる機械です。それと測ると平地では三十キロぐらいいきました。まだ遠くへ行ったことがないので、今度遠出したいなあと思っているとあります。



↑1面でも取り上げたご夫婦と Kol Shalom



↑お餅つきの様子

(細長い形にデザインしよう)

こんにちは！行事報告

十二月

三日 老健施設「くれない」慰問(日曜学校)

十日 BCクリスマス会

二十三日 Jクラブ・クリスマス会

二十四日 ホーリークリスマス

(向日かおりさんをお招きして)

二十九日 祖父母宅・お餅つき

三十日 親族で食事会

一月

二日 書き初め会(岩崎兄弟宅)

五日 親族で食事会

六日 合同公文スペシャル

「絵本の読み聞かせ」

八、十一、十二、十八、十九日

看護専門学校試験

九日 新春合同学び会(東大阪市民会館)

十二日 R・十二歳 誕生日

十四日 Jクラブ「お餅つき」

十四〜十五日 センター試験

十七日 音楽の集い

二十四日 塗り絵・工作教室

日曜学校クリスマス会

今年も日曜学校クリスマス会がありました。今回は百四十名ほどの親子が来てくれました。

毎年好評のバザーがあり、お母さんたちはみんなそしてお買い物をしていました。

今回初めてYさんの絵の展覧会があり、きれいな絵がたくさん飾ってありました。猫の絵は写真だと思ってしまうくらいすばらしかったです。どんな画材を使っているのか詳しく教えてくれました。

今年も去年と違うアトラクションが多くて楽しかったです。「もぐらたたき」が特に楽しかったです。

食べ物コーナーは、チョコフォンデュ・フランクフルト・焼きそば・クリスマスケーキを用意してくれていて、焼きそばは鉄板で焼いていたので、家で食べるよりおいしかったです。どれもお代わりをさせてもらいました。

後半プログラムは集会の近所のN音楽教室のみなさんがクリスマス曲のベル演奏を聞かせてもらいました。七、八人ほどの方が演奏されていたのに、すごくきれいに合っていてびっくりしました。私もベル演奏をしたことがあるので練習の大変さがわかりました。

その後、すぐに十月から頑張って日曜学校のみんなで練習してきた降誕劇をしました。今年は羊飼いと博士登場シーンではY先生が作った歌を歌いました。

私にとっては最後の日曜学校のクリスマス会でした。

編集後記

刊行後初めての合併号(一・二月)でした。年賀状がエッグプラント特別号なのでつい休んでしまいました。一度止めると、なかなか筆が進まなくなるものです。